

令和元年度

第2回 民間技術発表会

聴講者を募集します

- 日時 令和2年2月7日(金) 13:30 ~ 16:00
(受付13:00~)
- 場所 東北地方整備局 港湾空港部 会議室
仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎B棟 9F
- 定員 50名程度(先着順)
- 参加費 無料



紹介技術

- 電気防食用流電陽極の出力電流逆解析工法
- 3D浚渫管理システム
- 栈橋工事へのCIMの適用
- 浮標画像追跡システム「i-ByTs」(アイ・バイツ)
- ドローン搭載型グリーンレーザ計測機(TDOT Green)



お申込み方法

FAXで参加希望者の氏名・連絡先をお申込み下さい。(別紙の申込用紙をご利用下さい)

お問い合わせ先

仙台港湾空港技術調査事務所 技術開発課
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡5-1-35 三共仙台東ビル7F
TEL:022-791-2113



令和元年度 第2回民間技術発表会

【民間技術発表会とは？】

東北地方の港湾・空港整備、調査等で活用が期待される民間等で開発された新技術について、情報収集や発信の場として、毎年定期的に開催しております。
参加費無料でどなたでも参加していただけますので、この機会にぜひご参加ください。

○【発表技術】(会社名)と技術概要

【電気防食用流電陽極の出力電流逆解析工法】(日本防蝕工業㈱)

電気防食装置の取付は ○○年耐用-○. ○A(アンペア)型 と記載されている。
維持管理上 陽極の残寿命推定は、詳細定期点検時に 潜水作業で確認している。
今回の技術工法では、潜水作業の必要性を無くして、安全性と低コストに繋ぐことが出来る。

【3D浚渫管理システム】(あおみ建設㈱)

グラブ式浚渫船の施工状況をモニター画面に3D表示することで、施工状況を可視化できる施工支援システムです。

【栈橋工事へのCIMの適用】(若築建設㈱)

栈橋構造(ジャケット式)の岸壁築造工事において、CIMを適用した。
工事内容、特徴、CIM適用にあたっての経緯、結果等を報告する。

【浮標画像追跡システム「i-ByTs」(アイ・バイツ)】(東洋建設㈱)

従来の波浪観測は、監視員の目視や波浪計測装置が用いられるが、監視員の熟練度の差や、計測装置の設置手間などが課題であった。このシステムは、海上土木工事において、沖合の浮標をカメラで撮影し、画像解析によってリアルタイムに波高と周期を計測。さらに危険波浪の検知と警報により、作業安全性を確保する。

【ドローン搭載型グリーンレーザ計測器(TDOT Green)】((株)パスコ)

陸部と水部を同時に三次元計測できるグリーンレーザスキャナを無人飛行機(ドローン)に搭載したグリーンレーザドローンが開発されており、グリーンレーザドローンは、航空レーザ計測と比較して、高密度に地形形状を取得できることから、港湾や海岸の構造物を詳細に把握できると期待されている。

FAX申込み用紙

氏名	住所または所属会社名	連絡先

FAX番号: 022-292-5366 (個人情報、本発表会開催目的以外には使用しません)

※申込み多数の場合は、早めに募集を締め切る場合がありますのでご了承ください。